

身体的拘束を最小限に向けた取り組み

《基本方針》 原則として身体的拘束を行わない

当院では患者さんの **安全・尊厳・その人らしい生活**を大切にし、身体的拘束をできる限り行わないケアに取り組んでいます。「安全のため」という理由だけで、安易に身体的拘束を行わないよう努めています。身体的拘束は患者さんの心身に大きな負担を与える可能性があるため、原則、身体的拘束を行わないことを前提としたケアの実践を重視しています。

◎取り組み内容

身体的拘束をしないために、次のような取り組みを行います。

- 1) 患者さんの状態を適切に把握するアセスメント
- 2) 環境調整による安全確保
 - ・ ベッドの周囲の整理整頓
 - ・ ナースコールの使いやすい配置
 - ・ 転倒しにくい工夫
- 3) 患者さんに寄り添うコミュニケーション
 - ・ ご家族との連携による安心感の提供
 - ・ 不安や混乱の軽減を目的とした声かけ
 - ・ 時間をかけた説明
- 4) スタッフ教育の充実
 - ・ 身体的拘束に関する研修の定期実施
 - ・ 身体的拘束を行わずにケアする実践例の共有
- 5) チームでの見守り体制
 - ・ 看護師、医師、リハビリスタッフ、看護補助者が連携
 - ・ 見守り強化やケア方法の見直しを随時実施
 - ・ 必要に応じて家族と協力しながら安全を確保

◎やむを得ず身体的拘束が必要な場合

患者さんの生命や安全を守るため、一時的に身体的拘束が必要となる場合があります。その際は他の方法を十分に検討した上で、必要最小限の方法で必要最短期間のみ実施し毎日解除に向けて評価します。また必ずご本人・ご家族へ説明いたします。

《ご家族へのお願い》

患者さんにとって、ご家族の存在は大きな安心につながります。

- ・ 普段の生活の様子を教えてください
- ・ 落ち着く言葉かけを共有してください
- ・ 面会時に安心できる時間を作ってください

当院は、患者さんの尊厳を守り、安全で安心できる療養環境を提供するため、身体的拘束の最小化に継続して取り組んでいきます。

ご不明な点はお気軽にご相談ください。

安芸太田病院
病院長・看護部長・事務長

◎当院の身体的拘束率

【2 階病棟】

	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4	R8.5	R8.6	R8.7	R8.8	R8.9	R8.10	R8.11	R8.12
1月あたり	3.63	2.14	2.57	1.98	0.38	0.29						
3月平均	1.82	2.40	2.78	2.23	1.62	0.83						

【3 階病棟】

	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4	R8.5	R8.6	R8.7	R8.8	R8.9	R8.10	R8.11	R8.12
1月あたり	3.04	0.00	0.00	3.61	2.62	0.00						
3月平均	3.00	2.49	0.92	1.04	1.91	2.04						